



GOOD NEWS と きの こ え

War Cry

9月号

福音版
2023
September
No.2857

二〇二三年 九月一日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行 広報版・奇数月十五日発行

心のチエツクを しませんか？

鈴木 智博

先日、健康診断で胃カメラの検査をしました。多少緊張しながら検査を終え、

その後、画面に映し出された自分の胃の内側を初めて見ました。医師が胃の各部

普段わたしたちは、自身

の写真を見ながら説明をし、大きな病気はないとのこと

し、導こうと片時も忘れずにいてくださることを知ることができたなら、わたしたちの心の中も、不安な気持ちから平安な気持ちに変えられるのではないでしょう



自身の事は自分が一番よく理解しているように考え、そのように感じて過ごしています。けれども、わたしは初めて自分の体の内部を見て、これが自分自身の普段目にしない部分だと気づいたとき、自分自身の心や目に見えない内面においても、理解していない事が実はたくさんあって、どんな状態か気づいていないのではないかと思われました。

聖書の詩編一三九編一三節〜一八節に、ダビデという人が書いた詩があります。「神は、精巧に私の体のすべての器官を造り、母の胎内で組み立ててく

健康診断は定期的な体のチエツクをおこないますが、時には自分自身の心の在り方も、チエツクをする必要があるかもしれません。「聖書はすべて神の靈の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。」(テモテへの手紙二 3章16節)

(救世軍士官(伝道者))

神様の恵みのうちに導かれ

伊藤 ちひろ 千尋 さん (救世軍渋谷小隊所属)



主イエス・キリストは「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」と約束されました。人生の様々な出来事の中でも、主イエスが共におられ、心にあるものを委ねることができる——信仰の恵みの証言を伊藤千尋さんに聞きました。

不思議な決意と変化

出身は北海道・釧路です。昭和四十五年、全く前触れなく玄関の戸が開き、そこに救世軍の北海道連隊長(地区の責任者) 夫妻が立っておられたのです。いつも我が家でもたれていた家庭集會のご用で来られる時とは違い、二人とも緊張した表情でした。すぐ、母に取り次ぎ、ご挨拶を済ませ、私は当時の職場に出かけて行きました。午前中のうちに呼び戻され、母から伝えられたのは、長男の嫁にぜひ、と本人の履歴書と写真をいただいたというものでした。父は、よく考えて決めなさい、と。私がまだ二十一歳で若いからか、嬉しそうではありません、というより、お断りしたいような雰囲気、無言になっていました。

私の気持ちはすぐに決まりました。神様を信じ、クリスチャンとして生きてい

う。心の内は不思議なほど静かで、「はい、わかりました」と返事をしました。その時までは、家庭集會が終わる時を母と膝を並べてただ待ち、皆さんにお茶を出すだけの私だったことを思えば、本当に不思議です。私にとって、神様とつながった時、神様から手を差し伸べていただいた時でした。

その後、難しいけれど聖書を読んでみたい、そして「神は愛なり」がわかるようになるかもしれないと思いがわいてきました。初めて聖書を開き、新約聖書のマタイによる福音書から読み、五章で、イエス様が「山上の説教」を始められる箇所まで進んだ時、私が欲しいと思ってきた教えがここにある、と驚きました。それまでは聖書を理解し受け入れるなど私にはとても無理なこと、と思い込んでき

家庭を築いて

たからです。この時に、「信じる」ならば心の目は開かれるということなの? と、

とても不思議な自分自身の変化を感じました。

札幌小隊(教会にあたる)で兵士入隊となる信仰告白の儀式をし、結婚式を終え、上京。主人の属する渋谷小隊に連なり、日曜日の聖別会(礼拝)に出席するようになり



義父母と長女と一緒に札幌で

ました。そこでのブラスバンドの演奏、唱歌隊(聖歌隊)の賛美、信仰の証言、会衆賛美、聖書のメッセージに、神様の世界の大きさ、広さを感じました。

また月一度、近隣の高齢者が集う「柏寿会」の後に「家庭団例会」(女性のための集まり)がもたれ、大きな恵みの時を過ごしました。あるゲストがエプロンにクロスステッチを講習してくだ

さった時、緊張感がありながらも豊かさに満たされず、つとこのまま小隊に居たいと思ったことを懐かしく思い出します。

昭和四十七年春、夫は転

職し教員になりました。十月に長女が誕生。元気に順調に成長してくれていましたが、私は胃潰瘍が悪化し、三、四カ月に育った娘を四十メートル先にある銭湯に連れて行くこともできないほどでした。一年ほどで体力は回復し、次女を出産しました。

昭和五十五年、救世軍士官(伝道者)の義父母は完全引退し、同居が始まりました。義父はすでに胃がんを発症していて、治療しながらの引退生活。入院、手術と続いていた一方で、私も今度は子宮内膜症が徐々に悪化、手術のほかに選択肢がない状態でした。我が家に



とって困難続きの時でしたが、小隊の皆さん、義父母と関わりのあるたくさんの信仰の友の祈りと励ましに支えられ、主(神様)の御隣れみの恵みのうちに守られ

苦しみの中に響いた声

年月はかかりましたが、体調回復と共に少しずつ日曜集会に出かけられるようになりまし。出かけた後に熱が出ていた辛さもなくなってきたので、コンスタントに聖日には小隊へ出かけることができ、お恵みの時が来たことがうれしいはずでした。

ところが、何か空しさや孤独感に捉えられたように小隊に向かう足も心も重く苦しみが増すようになりまし。とうとう、ある日曜日、小隊に向かう電車の中で、家に帰ろうという思いで一杯になりました。小隊のある恵比寿駅では降りないことにしようと思つた時

ておりました。また、小学生になった娘たちも日曜学校に電車で出かけられるようになっていたことは、とてもうれしいことでした。

頭の上から全身を被うように、

「恵みはお前に十分だ」と、よく響く大きな声に包まれました。ちょうど駅に着きました。「はい、降りませ」とホームに降り、小隊に向かうことができました。

「私の心の内をご存じでしたか。神様、本当ですか、私はとても苦しいです。どうしていいかわかりません。」そう思いながらも、足は小隊に向かっていました。小隊に着き、皆さんと共に集会の席に座っているだけでしたが、私は一人ではない、皆さんと一緒に、私も主に導かれて信仰の道を歩んでいる……と思ひました。この日を境に、初心を取り戻したようでした。

詩編二三編
主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に

休ませ
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。
主は御名にふさわしく
わたしを正しい道に導かれる。
死の陰の谷を行くときも
わたしは災いを恐れない。
あなたがわたしと共にいてくださる。
あなたの鞭、あなたの杖
それがわたしを力づける。

小隊の皆さんと共に これまで、これから

四十代中ごろ、小隊で、私にとつて思いがけない役割を受けてほしいとの決断を迫られたことがありました。人の前に立つお役は私にふさわしくない、そもそも何の賜物もたない私、他に優れた人がいるではありませんか、なぜ私なのでしょう。それに、体力もありません……。お断りする理由はたくさんありました。当時の小隊土官は、そうですか、困りましたね、と。私は「主人に相談してみます」と言うほかに、返す言葉が見つかりませんでした。いろいろと考える中で気づかされたことは、聖日のお交わりの他にも、修養会、

わたしを苦しめる者を前にしても
あなたはわたしに食卓を整えてくださる。
わたしの頭に香油を注ぎわたしの杯を溢れさせてくださる。
命のある限り
恵みと慈しみはいつもわたしを追う。
主の家にわたしは帰り生涯、そこにとどまるであらう。

小隊バザーでの奉仕、高齢者が集う柏寿会、家庭団の集いなどを通して、親しくお互いの心を通わせる経験に恵まれてきたことでした。皆さんと共に進んでいけるよう主のお導きに期待する思いに至り、任命を受けました。その役割をいたっていた十二年間、足りないことの多い私に、助けと励まし、支えをもつて寄り添ってくださった皆様に感謝をお伝えしたいです。

「神の恵みによって今日のわたしがあのです。そして、わたしに与えられた神の恵みは無駄にならず、わたしは他のすべ

ての使徒よりずっと多く働きました。しかし、働いたのは、実はわたしではなく、わたしと共にある神の恵みなのです。」(コリントの信徒への手紙一 15章10節)

その後、小隊で世代交代を含めた組織の見直し計画のもと、現在は、会計の役割をいただいています。会計の役割は、小隊に連なる一人ひとりの献げられる、月ごとの、また聖日ごとの献金を整えて、神様の御前に報告するものと心に留めています。自身の年齢から、次へ引き継ぐ日も近いことでしょう。すべてをお委ねし、御導きを待ちたいと思ひます。

さちいとおおし
主をばのぞみて ころろはげまし つとめいそしむ めぐみとうとし
主ともにあゆむ 信仰により なやみおそれも耐うるはやすし
主にぞつかえる さかえおもえば むくいねがわじ ただありがたし



渋谷小隊の女性の集いで皆さんと (2列目左端)

創立者 ウィリアム・ブース 大將 リンドン・バッキンガム (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 スティーブ・モーリス (救世軍本営 東京都千代田区)



世界をみつめて

〈タイ〉救世軍の活動が公式に承認される

2023年6月13日、救世軍がタイで公式に活動を開始したことが公表されました。救世軍が活動する134番目の国となります。

2012年にタイ北部のチェンマイで活動の可能性が検討され始めました。この国が力強く発展を続け、豊かさを享受する人々がいる一方で貧困に苦しむ人々も多く、キリストの救いの福音を届ける救世軍の働きが必要と認識されました。チェンマイで2014年8月から先駆的な活動が始まり、2015年からは礼拝がおこなわれ、兵士(信徒)になる人々が起こされました。法人としての登録手続きが2016年から



開始され、2023年4月にチェンマイ県政府が正式な承認をしました。

タイの救世軍は、伝道とともに、洪水など災害被災者の支援、刑務所訪問、街頭生活者や貧困に苦しむ人々への支援、子どもたちのためのキャンプ、スポーツミニストリーなど多岐にわたる活動をおこなっています。

〈アフリカゾーン〉成長する教会と地域への奉仕

救世軍はアフリカの27カ国で活動しており、大きく成長しています。伝道とともに、各地のニーズに応じた非常に幅広い活動が進められています。

●現代奴隷制及び人身取引(人身売買、強制労働、強制結婚、性的搾取などを含む非人道的行為)は、世界でおよそ5,000万人に影響を及ぼしており、その4分の1近くの事案がアフリカで発生しています。アフリカの救世軍の各軍団には反人身取引コーディネーターがおかれ、情報共有とパートナーシップの構築により問題に介入していく体制をもっています。また日常的な祈りと、予防資料の現地語への翻訳、配布などを通じて、人身取引のない

世界の実現に向けて積極的に取り組んでいます。

●食糧安全保障と経済的エンパワーメント…ケニア東部の救世軍では、気候変動に関連した農業の知識と技術を住民に提供しています。地域の約1,400世帯がプロジェクトに参加し、食糧自給と栄養、家計に良い影響をもたらす技術を実践しています。

また、ナイロビのスラム街に住む人々を対象に、貯蓄と低利融資のプロジェクトを実施しています。少人数のグループで協力して貯蓄し、それを元手に低利融資を受けて小規模事業をおこない、生活の基盤を支える収入を得ます。これまでに約2,000人の人々が受益者として参加し、女性の経済的自立や貧困からの脱却のために用いられています。



手工芸品を作る母親のグループ。ナイロビで



救世軍とは? What is The Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は、英国ロンドンに国際本部を置き、世界134の国で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865年、英国のメソジスト教会の牧師ウィリアム・ブースと妻カサリンによって始められ、東ロンドンのスラム街で、家のない人々、アルコールの悪影響下にある人々、搾取される女性や子どもたちに助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。

日本では1895(明治28)年9月に英国から士官(伝道者)たちが来日して救世軍の働きが始まりました。今年で128周年を迎えます。日本人最初の救世軍士官となった山室軍平は、平易な言葉で聖書のメッセージを伝えるとともに、^{はいしやう} 癩病運動や結核療養所の設立などに携わり、大きな感化を

残しました。現在、日本の救世軍は41の小隊(教会にあたる)、19の社会福祉施設、2つの病院(ホスピス併設)を通して働きを進めています。また、子ども食堂や、災害発生時の被災者支援などをおこなっています。毎年、秋には、「感謝祭」募金をおこない、日本国内での救世軍の働きへのご支援をお願いしております。皆様のご理解とご支援を賜りますなら幸いです。



救世軍公報 ときのごえ
発行日 福音版/毎月1日、広報版/奇数月15日
定価 福音版/1部40円、広報版/1部100円
(税込) クリスマス特集号(12月1日号)/1部100円
振替 00180-5-4400
発行兼 救世軍
印刷人 代表者 スティーブ・モーリス
編集人 山谷 真
発行所 救世軍本営 <https://www.salvationarmy.or.jp>
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
電話 03-3237-0881(代表)
Mail jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org
印刷所 ピーアンドエス



聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会 救世軍は、旧統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、下記救世軍にご相談ください。

【取り扱い支部】

救世軍への連絡をご希望の方は、以下の該当する項目及び住所氏名をご記入の上、救世軍本営(左記)、もしくは、上記救世軍にご連絡ください。
・私の近くの救世軍を紹介してください。 ・キリスト教についてもっと知りたいです。
・『ときのごえ』の購読を申し込みます。 ・相談を希望します。